

評価規準（令和2年度）【国語】5 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉で伝えよう わたしは木	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ）	【態度】進んで目的や意図に応じて、話題を決め、学習の見通しをもって必要な情報を集め、友達の言葉や動作を受けとめようとしている。
水平線 うぐいす	◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク） ◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。（〔知識及び技能〕(1)ケ）	◎【思判表】「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで詩の目や耳で捉えた世界の感じ方を想像し、学習の見通しをもって言葉の響きに気をつけながら、音読しようとしている。
一 くふうされた表現をもとに、 登場人物のしんじょうをそう ぞうして読もう いつか、大切なところ	◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク）	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって登場人物の心情の移り変わりを考えながら読もうとしている。
新聞を読もう	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cア）	【態度】進んで新聞の仕組みを知り、今までの学習を生かして新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて考えたことを話し合おうとしている。
「情報ノート」を作ろう	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア	◎【思判表】目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア	【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って感じたり考えたりしたことについて情報を集めて「情報ノート」を作ろうとしている。
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けているとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ） ◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。

漢字の広場 ① 四年生で学んだ漢字 ①	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
二 事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう 人とねずみの「はい、チーズ！」	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）	【態度】積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって同じ言葉が異なる働きをすることに気づき考えたことを文章にまとめようとしている。
言葉と事実	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cア）	【態度】粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって事例と解説に気をつけて文章を読み、言葉と事実の関係について考えようとしている。
話し言葉と書き言葉	◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)イ）		【態度】積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って自身の言語生活を振り返って考えようとしている。
三 伝わるように構成を考えよう 「町じまん」をすいせんしよう	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）		【態度】積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりしようとしている。
ポスターを作ろう	◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)イ）	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ）	【態度】粘り強くポスター全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって構成や表現を工夫して、ポスターを作ろうとしている。

		◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	
漢文に親しむ	◎【知技】文章を音読している。（〔知識及び技能〕(1)ケ） ◎【知技】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（〔知識及び技能〕(3)ア）	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】積極的に現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響きを理解し、今までの学習を生かして漢文を読み味わいながら音読しようとしている。
敬語	◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。（〔知識及び技能〕(1)キ）		【態度】積極的に日常よく使われる敬語を理解し、今までの学習を生かして敬語を使う場面や使い方に関心を持ち正しく使おうとしている。
漢字の広場 ② 複合語	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）		【態度】積極的に複合語の組み合わせ方について理解し、学習の見通しをもって複合語について、言葉集めをしようとしている。
漢字の広場 ② 四年生で学んだ漢字 ②	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
知りたいことを決めて、話を聞こう	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ）	【態度】粘り強く聞きたいことを明確にして、学習の見通しをもって、話を聞こうとしている(④)。
詩を味わおう 素朴な琴 鳴く虫 山のあなた	◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク） ◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を楽しもうとしている。

四 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう 大造じいさんとがん	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）	【態度】進んで残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、学習の見通しをもって「やま場」の場面を見つけたり、大造じいさんの行動について考えたことを文章にまとめようとしている。
鳥	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】粘り強く「鳥」を扱った言語表現を集めようとし、学習の見通しをもって感じたり考えたりしたことについて文章に書こうとしている。
俳句を作ろう	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア）	【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって俳句をつくろうとしている。
五 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう A I とのくらし	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】粘り強く立場を決めて話し合い、学習の見通しをもってさまざまな意見を聞いて自分の考えを広げようとしている。
漢字の広場 ③ 熟語の構成	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）		【態度】粘り強く二字熟語の構成や由来について理解を深め、学習の見通しをもって熟語の構成のもとに意味を考えたり、辞典を使って調べたりしようとしている。
漢字の広場 ③ 四年生で学んだ漢字 ③	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵

	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	を説明する文を書こうとしている。
一 多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう 世界遺産 白神山地からの提言 —意見文を書こう	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）	【態度】積極的に多様な文章や資料を比べながら読み、学習課題に沿って自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書こうとしている。
「古典」を楽しむ	◎【知技】古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。（〔知識及び技能〕(3)イ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）	【態度】進んで昔から読み継がれている物語を読み、学習の見通しをもって「古典」を読んだ感想をまとめようとしている。
かなづかいで気をつけること	◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けているとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】積極的に仮名遣いのきまりを理解し、学習課題に沿って文を正しく書こうとしている。
漢字の広場 ④ 漢字の成り立ち	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって漢字の成り立ちについて関心を深め、漢字事

	また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）		典で調べようとしている。
漢字の広場 ④ 四年生で学んだ漢字 ④	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
二 表現の効果を考えながら、登場人物の関わりをとらえて読もう 雪わたり	◎【知技】比喩などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク）	◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】進んで物語の表現の工夫や登場人物の関わりを読み、学習の見通しをもって『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書こうとしている。
「図書すいせん会」をしよう	◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ）	◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）	【態度】積極的に推薦の仕方を工夫して、学習課題に沿って「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合おうとしている。
言葉で伝える、心を伝える	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア） ◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ） ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらい計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）	【態度】積極的に相手の立場を意識し、今までの学習を生かして相手の立場を意識しながら、自分の気持ちを言葉で伝えようとしている。
詩を味わおう はたはたのうた	◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ク） ◎【知技】語句の由来などに関心をもっているととも	◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（〔思考力、判	【態度】進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を味わおうとしている。

雪	に、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	断力、表現力等〕Cエ）	
三 事実と意見を結びつけて書く 提案文を書こう	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ） ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bカ）	【態度】積極的に身のまわりの生活から課題を見つけ、学習課題に沿って事実と意見を結びつけて提案文を書こうとしている。
和語・漢語・外来語	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）	【態度】積極的に和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、今までの学習を生かしてそれぞれから受ける印象のちがいについて考えようとしている。
漢字の広場 ⑤ 同じ音の漢字	◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けているとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】積極的に同音の漢字、同音異義語について理解し、学習課題に沿って同じ音の漢字を正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤ 四年生で学んだ漢字 ⑤	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒◎思判表B(1)イ	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
四 「まんがの方法」とその効果について、自分の考えをもとう	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。ま	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別し	【態度】粘り強くまんがの表現方法やおもしろさを理解し、学習の見通しをもってまんがに対する自らの考えの変化を文章に表そうとしている。

まんがの方法	た、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）	て書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）	
ひみつを調べて発表しよう	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（〔知識及び技能〕(2)イ）		【態度】進んで資料を生かした構成を考えて、今までの学習を生かして効果的に発表しようとしている。
漢字の広場 ⑥ 送りがなのきまり	◎【知技】文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けているとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって送り仮名について理解を深め、正しく書こうとしている。
漢字の広場 ⑥ 四年生で学んだ漢字 ⑥	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
五 みずぶをさがし求めた筆者について、考えをまとめよう みずぶさがしの旅——みんなちがって、みんないい	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを	【態度】積極的にノンフィクション作品の筆者の心情や考えについて理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。

		まとめている。（〔思考力，判断力，表現力等〕Cオ）	
国語の学習　これまで　これから	【知技】話の構成や展開，話の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討している。（〔思考力，判断力，表現力等〕Aア）	【態度】積極的に一年間の国語学習を振り返ったり，これからの学習について考えたりして，今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。

評価規準（令和2年度） 【書写】 5 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
場面に合わせた書き方のくふう 五年生で学習すること 目次 1 はじめの学習 ■学習の進め方 ■点画の種類 ■姿勢と持ち方、用具のあつかい方	【知技】読みやすく書く方法について話し合っている。 【知技】1年間のめあてや学習内容について知っている。 【知技】用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身についている。 これまでに学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。	【思判表】さまざまな場面における書き方の工夫について考えている。 【思判表】用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方の良しあしを考えている。 筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。	【態】さまざまな場面における書き方の工夫について知り、興味・関心を高めている。 【態】1年間の学習内容を知り、書写学習に対する意欲をもっている。 【態】用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を確かめようとしている。 ほかの書写場面でも、よい姿勢やよい持ち方で、筆の穂の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。
2 文字の組み立て方（中と外） 『草原』	【知技】中と外の部分の組み立て方について理解している。 中と外の部分の組み立て方に気をつけて書いている。	【思判表】中と外の部分の組み立て方について考えている。	【態】中と外の部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 「活字」について知ろう	【知技】手書き文字と活字の特徴がわかる。	【思判表】手書き文字と活字の違いについて話し合い、考えている。	【態】手書き文字と活字の違いに気づき、文字に関する関心を高めている。 手書き文字と活字の特徴について、積極的に調べようという意識をもっている。
3 文字の組み立て方（中と外）と、穂先の動き 『道』	【知技】「にょう」と中の部分の組み立て方について理解している。 「にょう」の中の部分の組み立て方に気をつけて書いている。 「にょう」の筆使いに気をつけて書いている。	【思判表】「にょう」と中の部分の組み立て方について考えている。	【態】「にょう」と中の部分の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
<硬筆の学習> 文字の組み立て方（中と外）	【知技】中と外の部分の組み立て方について理解している。 中と外の部分の組み立て方に気をつけて書いている。	【思判表】中と外の部分の組み立て方について考えている。	【態】中と外の部分の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。 ほかの文字でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 文化	【知技】文字の大きさ、文字の中心を行の中心に揃えて書く方法について理解している。	【思判表】文字の大きさや、文字の中心を行の中心に揃えて書く方法について考えている。	【態】文字の大きさと配列に気をつけて書く意欲をもっている。

—『竹取物語』を書く	文字の大きさと配列に気をつけて書いている。		書写以外の学習でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
4 筆順と字形 『成長』	【知技】筆順と字形との関係について理解している。 「横画」と「左はらい」の筆順と点画の接し方に気をつけて書いている。	【思判表】筆順と字形との関係について考えている。	【態】筆順と字形に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字や硬筆でも、筆順と字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
<硬筆の学習> 筆順と字形	【知技】筆順の原則について理解している。 筆順と字形に気をつけて書いている。	【思判表】筆順の原則について考えている。	【態】筆順と字形に気をつけて、硬筆で書こうとしている。 ほかの書写場面でも、筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】メモ —工場見学のメモ	【知技】メモの取り方について理解している。 目的に応じた書き方について理解している。 メモの取り方を知り、立ったり座ったりしてメモを取っている。	【思判表】さまざまな場面に適した書き方について考え、話し合っている。	【態】メモの取り方を知り、他教科での学習活動や日常生活に生かしていこうとする意欲をもっている。 書写以外の学習場面でも、目的に応じた書き方で書こうとする意識をもっている。
6 文字の大きさ（漢字と平仮名） 『登る』	【知技】漢字と仮名のつり合いについて理解している。 漢字と仮名のつり合いに気をつけて書いている。	【思判表】文字の形や大きさの違いについて考えている。	【態】漢字と仮名のつり合いに気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、漢字どうしのつり合いに気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 平仮名のもとになる漢字	【知技】平仮名の字源について理解している。		【態】ほかの平仮名についても、字源について関心をもち調べている。
7 穂先の動きと、線のつながり 『あこがれ』	【知技】穂先の動きと、線と線のつながりについて理解している。 穂先の動きとつながりに気をつけて書いている。	【思判表】穂先の動きと、線と線のつながりについて考えている。	【態】穂先の動きと、線と線のつながりについて関心をもっている。 ほかの文字や硬筆でも、次の線へのつながりに気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 ポスター —委員会のポスター	【知技】読みやすく書くための基準について理解している。 文字の大きさ、行の中心、余白、行頭の位置に気をつけて書いてる。	【思判表】読みやすく書くための基準を確認し、自分のめあてを設定している。	【態】書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。
8 用紙に対する文字の大きさと配列 年賀状	【知技】用紙に対する文字の大きさと配列について理解している。 用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書いている。	【思判表】用紙に対する文字の適切な大きさと配列について考えている。	【態】ほかの文字や硬筆でも、用紙全体に対する文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
書きぞめ 『初春』	【知技】書きぞめの姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。	【思判表】書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。	【態】書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 ほかの学習の書写場面でも、よい姿勢や持ち方、

『世界の国』	これまで学習した文字の大きさや組み立て方，文字の中心に気をつけて書いている。		文字の大きさや組み立て方，文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【書いて 伝え合おう】 はがき 一年賀状、絵はがきを書こう	【知技】相手に伝わりやすい効果的な書き方について理解している。 文字の大きさや配列に注意したり，筆記用具を工夫したりしている。	【思判表】読みやすく書くための基準を意識して，はがきを見直している。	【態】書写で学習した内容を，他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 ほかの学習場面でも，読みやすく書くために工夫していこうとする意識をもっている。
9 学習のまとめ 『考える子』	【知技】これまで学習した文字の大きさや字形の整え方について理解している。 これまで学習したことを生かして，漢字と平仮名の大きさに気をつけて書いている。	【思判表】これまで学習したことを生かして，自分のめあてを選んでいる。	【態】これまで学習したことを生かして，自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも，漢字と平仮名の大きさに気をつけて，配列よく書こうとする意識をもっている。
【知っておこう】 手紙 —工場見学のお礼の手紙	【知技】手紙の書き方について理解している。		
【漢字表】 五年生で学習する漢字 四年生で学習した漢字	【知技】同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど，漢字の仲間分けについて理解している。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど，漢字の仲間分けをしている。	【思判表】これまで学習した字形の整え方，筆順について考えている。 同じ組み立て方の構成をもつ漢字を探すなど，漢字の仲間分けについて考えている。	【態】漢字表を使った，漢字の仲間分けの活動や，漢字の成り立ちについて，関心を高めている。 ほかの学習場面でも，筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【平仮名表】 【すみ・すずり・紙の作り方】	【知技】平仮名，片仮名の筆順や字形について理解している。		【態】平仮名，片仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名，片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。